



Kobe City University of Foreign Studies

神戸市外国語大学

CITIZENS CHAT CAFE 2024

最終報告書



著者 : Haruka Koike, Rajeev Kumar Singh, Montserrat Sanz

協力者: Lara Margherita, Mahana Gonno, Claudine A Agillon, Zoe Ditchburn, Hiyori Hara, Jingwen Cai, Momoko Nakao, Vincent Wong, Shun Ura and Amisa Nakata



目次

主催者からの挨拶.....	2-3
CCC とは？ 設立の経緯.....	4
CCC の概要、目的.....	4-5
開催日時、開催場所.....	5
議題.....	5
参加者について.....	6-7
スタッフからのコメント.....	8-13
ポスター.....	14-15
メディア掲載.....	16
イベントでの写真.....	17

主催者からのご挨拶

モンセラット・サンス

神戸市外国語大学と神戸市民の方々ととても特別な形で繋ぐことができるこの活動を主催できたことを非常に嬉しく思います。私たちは、英語が多くの人々にとって母国語ではないものの、互いにコミュニケーションを取ることができる共通語として多様な議論の場を提供することを通じて、街への恩返しをしたいと考えました。私たちは、異なるレベルで英語を話す多くの友人たちと出会い、彼らから生活や文化について多くのことを学びました。誰もが、間違いや訛りが有意義なコミュニケーションの障害にならないことを実感しました。参加者の多様性はイベントを重ねるごとに増し、真の異文化間・世代間の対話を実現できたと感じています。私たちの学部生たちは素晴らしいファシリテーターとして活躍し、英語が流暢であるだけでなく、このようなグループ活動をうまく進行させ、参加者全員を巻き込む役割を果たしました。外国からの学生たちも素晴らしい協力者となり、彼らの持つ他国の知識と経験を提供してくれました。私は神戸市外大の学生たちを誇りに思っています。総じて、参加者全員にとって非常に楽しく、ポジティブな経験になりました。私たちは、神戸市民の方々とこの繋がりが今後何年も続いていくことを願っています。このイベントの創設にインスピレーションを与えてくださったシン教授、そして素晴らしく、非常に一生懸命働いてくれたマネージャーの小池春伽さんに感謝申し上げます。このCCCの始まりを支えてくださった皆様にも感謝いたします。



ラジブ・クマル・シン



私たちは、地域に根ざしたこのイベントの成功と成長を反映したこの報告書を出版できることを嬉しく思います。CCCは、日本人と外国人の地元住民の方々と学生が英語で有意義な会話を広げる貴重なプラットフォームとなりました。異なるバックグラウンドを持つグループが集まり、考えを共有し、文化を越えて繋がりを築いていく様子を見ることができ、素晴らしく感じています。来年もこの取り組みをさらに発展させ、イベント参加者と運営ボランティアの経験をより良いものにしていくことを楽しみにしています。CCCを活気に満ちた、実り多いイベントにするために貢献してくださった皆様に感謝し、今後さらにこのコミュニティの繋がりが深まる機会を楽しみにしています。

小池 春伽



CCCに参加してくださった皆様に心から感謝申し上げます。このプロジェクトを通じて共に学び、成長できたことを非常に嬉しく思います。毎月、さまざまなバックグラウンドを持つ多様な人々が集まり、英語で意味のある会話を交わす姿を見ることができました。これにより、参加者の語学力が向上し、強いコミュニティ関係の形成にも繋がったと感じています。このプロジェクトが今後も発展し、続いていくことを心から願っています。一年弱という短い期間ではありましたが、この素晴らしい活動のマネージャーを務めることができて嬉しく思います。

CCC とは？

CCC は「Citizens Chat Cafe」の略で、神戸市外国語大学（神戸市外大）で毎月開催される、地域住民の方々が日本人学生や外国人学生と英語でコミュニケーションを取ることができるプラットフォームです。このイベントは、かつてつくば市で、筑波大学、つくば国際交流協会、つくばサイエンスシティネットワークによって主催されていた類似の取り組みから着想を得たものです。

CCC 設立の経緯

CCC は、地域住民の方々が英語でのコミュニケーションや大学の学生と有意義な会話がでるプラットフォームの需要に応えるために設立されました。地域社会と学生の間でのコミュニケーションを促進する重要性を認識し、その実現のために立ち上げられました。CCC の主な目的の一つは、地域社会に対して恩返しをすることです。これは、神戸市外大の使命として掲げられている「市民大学」としての活動と一致しています。神戸市外大は、スタッフや学生の協力を得て、地域住民の方々がキャンパス内で日本人学生や外国人学生と英語で交流できる無料の機会を提供します。このイベントではカジュアルでサポートのある環境で、さまざまな議題を通して異文化交流を深めながら言語力を強化させることが狙いです。この取り組みを通じて、CCC は国際的なコミュニケーションと理解を促進し、地域社会に貢献することを目指しています。

イベントの概要

CCC は、2024 年に神戸市外国語大学の魅力発信事業の一環として始動されました。このイベントは、主に神戸市民の方々と神戸市外大に留学している学生を繋げ、英語での会話を楽しむ機会を提供するものです。月に一度開催され、参加者はさまざまなトピックについて約 2 時間にわたり議論し、異なる背景や年齢層、英語力を持つ人々と交流します。

目的

このイベントの目的は、神戸市外大、日本人学生と外国人学生、そして地域社会との繋がりを強化し、相互の文化理解を促進することです。また、地域住民に対して、外国人学生と英語で会話を交わす機会を提供し、英語力を向上させ、意義深い文化交流を促進することを目指しています。

開催日時

セッションは月に一度、土曜日に開催されました。日程は以下の通りです。2024 年 9 月 28 日、10 月 26 日、11 月 16 日、12 月 7 日、2025 年 1 月 25 日

すべてのセッションは同じ時間帯の 13:30 から 15:30 に開催されました。

開催場所

9 月のセッションのみ神戸市外大の三木記念会館で開催されました。その他のセッションは学生会館の会議室 4・5 で開催されました。

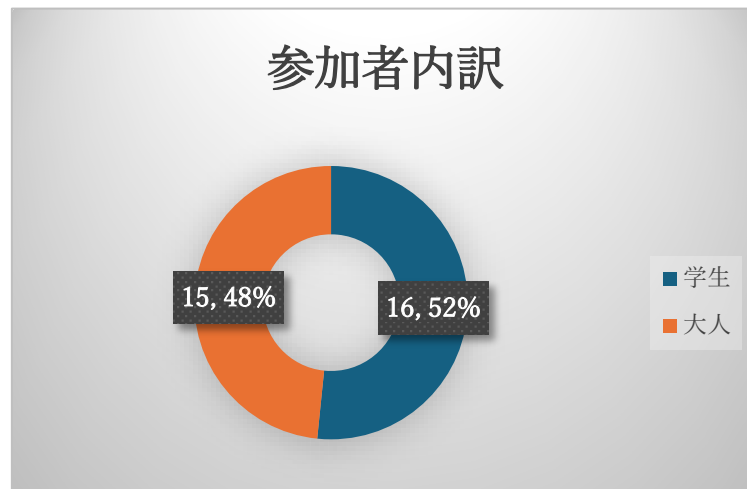
議題

9 月	持続可能な開発目標（SDGs）
10 月	お祭り、イベント
11 月	こどもの権利と福祉
12 月	各モデレーターによって設定されました。（例：趣味、旅行）
1 月	冬休みをどう過ごしたか、新年の抱負

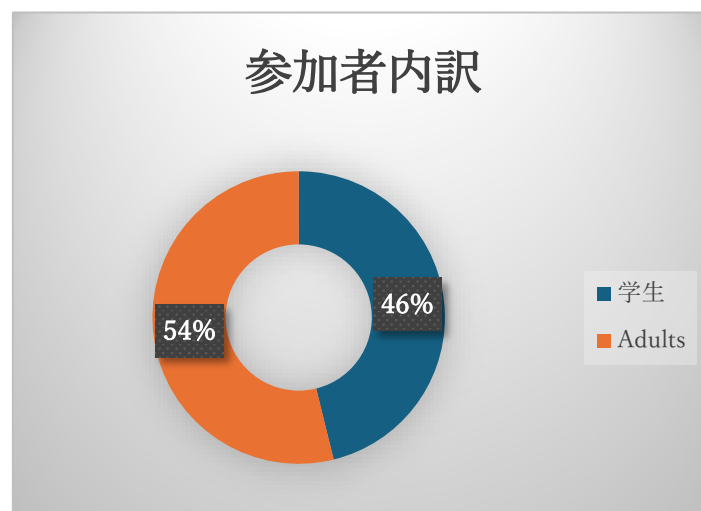
参加者について

9月：39人（内訳不明）

10月：31人

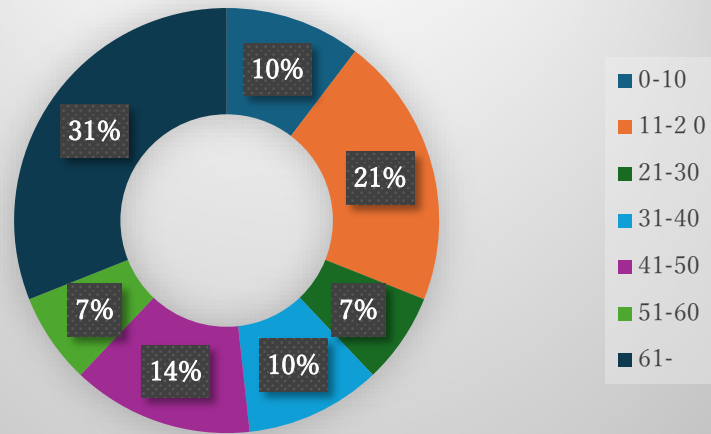


11月：26人



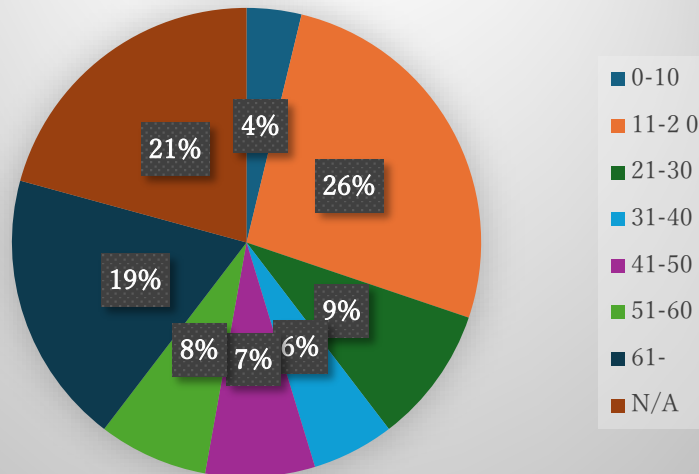
12月：43人

参加者内訳（年代）



1月：53人

参加者内訳（年代）



合計：192人！

スタッフのコメント



ララ・マルゲリータ （10月、11月、12月）

私は、自分の母国と異なる人々の文化、視点、習慣などについてもっと知りたいと思いスタッフメンバーとして参加しました。この活動は非常に充実した経験で、英語力の強化だけでなく、社会的なスキルや会話スキルも向上させることができました。組織的な問題は時々ありましたが、本当に楽しく、私を助けてくれたすべてのスタッフや教授に感謝しています。

権野万花 （参加した会：9月、10月、11月、12月）



CCC は、単に人々が英語でコミュニケーションを取る場所であるだけでなく、英語を通じて新しい友達に出会う機会でもありました。他の参加者との交流に慣れて、自分の経験や考えを楽しそうに共有していた参加者たちの輝く笑顔は、忘れられません！

モンセラット・サンス （参加した会：1月）



ファシリテーターとして1月に参加しました。高齢者、高校生や中学生、そして中年の方々が同じテーブルに座っていることが非常に重要だと感じました。皆さんは積極的に参加してくれ、私たちはみんな新しいことを学びました。彼らの英語力は全体的にかなり良かったです。中には海外に住んだことがある人や他の地域から来た人もおり、みんな異なる趣味を持っていました。

クラウディン・オーストリア・アギローン （参加した会：9月、10月、1

1月、12月、1月）



新しい経験や日本の人々と繋がりを持ちたくてこのプロジェクトに参加し、実際にそれが実現されてうれしく思っています。素晴らしい個性を持った人々と話す機会を得て、彼らのこれまでの人生や経験について知ることができました。異なる背景や世代の人々が集まり、英語を練習しようという共通の願いを持って同じテーブルに座っているのを見て、とても良いことだと感じました。また、私にとって簡単ではないこともありましたが、かなり良い仕事ができたと

思います。残念ながら、私はもうすぐ母国に帰国するため、これ以上参加できませんが、CCCがこれからも多くのセッションを行い、英語を話したいと思う神戸市民の方々を迎え入れていくことを願っています。

ゾーイ （参加した会：10月、11月、12月）



チームでの経験は素晴らしかったです。英語の学習や人々が繋がっていくことを助けることは非常に充実した経験でした。特に、高校生たちの英語力に感銘を受けました！また、他の文化に対する自分の関心を参加者と共有できたことがとても嬉しかったです。チームでの経験は素晴らしかったです。英語の学習や人々が繋がっていくことを助けることは非常に充実した経験でした。特に、高校生たちの英語力に感銘を受けました！また、他の文化に対する自分の関心を参加者と共有できたことがとても嬉しかったです。

原日和 （参加した会：9月、10月）



このイベントに参加できてとても光栄でした。参加者の中には多くの中高生がいましたが、驚くことに40代や50代の参加者も多く見られました。このイベントは、すべての年代の市民が英語を練習し、さまざまな背景を持つ人々とコミュニケーションを楽しむことができる場だと思いました。このイベントが私が大学を卒業した後も続き、さらに多くの参加者を迎えることができることを願っています。

ジンウェン （参加した会：9月、10月、1月）



さまざまな人々がセッションに参加していたので、自分の視野を広げ、多くの有意義なことを学びました。ホストを務めるのは正直とても緊張しましたが、セッションの最後に多くの人が「楽しかった」と話してくれたことがとても嬉しかったです！これらは非常に貴重な経験で、来年も参加するのが楽しみです！さまざまな人々がセッションに参加していたので、自分の視野を広げ、多くの有意義なことを学びました。ホストを務めるのは正直とても緊張しましたが、セッションの最後に多くの人が「楽しかった」と話してくれたことがとても嬉しかったです！これらは非常に貴重な経験で、来年も参加するのが楽しみです！

中尾桃子 （参加した会：10月、11月）



高校生から高齢者まで、さまざまな年代の多くの人々と出会うことができました。さまざまなテーマについて話し合い、その経験から新しい考えを得ることができました。ユニークで興味深い経験でした。このイベントがさらに大きく成長し、より多くの人々が交流できる場所になることを願っています



ヴィンセント （参加した会：10月、11月、12月）

このイベントに参加できたこと、異なる年代の人々とさまざまなテーマについて議論する機会を持てたことに心から感謝しています。英語力を向上させ、多様な視点を交換し、新しいことを学べた素晴らしい経験でした。来年もまた参加するのを楽しみにしています

ラジブ・クマール・シン（参加した会：1月）



初めてファシリテーターとして参加した1月のCCCイベントで、テーマは「冬休みと新年の抱負」でした。私のテーブルでは、学生から退職した方々、さらには高齢者までさまざまな参加者がいました。年齢ごとに議論の内容が異なることが興味深かったです。学生たちはビデオゲームや食べ物、旅行について話し、年齢の高い参加者は仕事や旅行の経験を共有し、中には料理や地域活動に対する想いを語る人もいました。印象的だったのは、参加者が相互に質問をし合って会話を深めていったことです。特に、最初は恥ずかしがっていた高校生たちが、議論が進むにつれて積極的に発言や表現をするようになったことです。このように、CCCは年齢に関係なく、誰もが快適に英語で意見を交わし、学び合う場を提供していると感じました。全体的に、CCCはさまざまなテーマを英語で議論する素晴らしいプラットフォームを提供し、世代を超えた理解とつながりを強化していると感じています。

中田 亜実沙



私がKobe CCCメンバーとして参加を決めた理由は、生まれ育った神戸の街に貢献したいと思ったからです。期待以上に多くの人が参加してくれ、参加理由もさまざまでした。このプロジェクトを通して、異なる背景を持つ人々と交流し、視野を広げることができました。しかし、ファシリテーターとして一つ苦労したのは、参加者が緊張していたり、議題が難しく話せない参加者いるときに、議論を始めるためのアイスブレイクがうまくいかないことでした。そのため、私はトピックについて、より理解しやすく、それぞれの参加者と関連があるものになるよう説明しました。これにより、参加者は自分の意見や考えを思

いつくことができました。最初は簡単ではありませんでしたが、参加者たちも自分の英語で議論を楽しんでいるのが見受けられたので、私自身も楽しむことができました。このプロジェクトを通して、私自身がファシリテーターとして成長できただけでなく、参加者が英語で表現する自信を持つ手助けにもなったと感じています。彼らが積極的に議論に参加しているのを見ることができて、私はとてもやりがいを感じました。

浦 舜 （参加した会：12月）



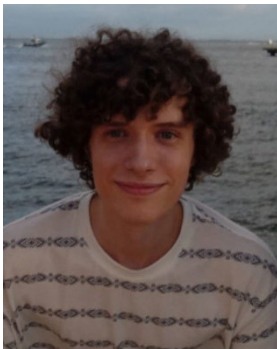
地元の人々とコミュニケーションを取ることができ素晴らしい経験でした。参加者の年齢層が非常に幅広く難しさを感じました。

高須賀 泰雅 （参加した会：1月）



英語を話すことに熱心な地元の人々と交流できて非常に嬉しかったです。また、地域の活性化に貢献し、自分自身の大学をより誇りに思うようになりました。

ディラン・エリオット （参加した会：10, 11, 12月）



このイベントは、あらゆる年齢の人々と英語教育のスキルを練習するのに非常に役立ちました。そのことには非常に感謝しています。セッション全体で大きな問題には直面しませんが、唯一の問題として挙げるべきは、セッション中の部屋の騒音量です。かなり小さな部屋で多くの人が話していると、参加者の話を理解するのがとても難しかったです。

マイジェールシー・オリット・マツサキ（参加した会：10，11，12月）



このイベントでさまざまな人と出会い、話すのはとても楽しかったです。そのイベントでは多くの興味深いトピックが取り上げられました。参加者全員が親切で会話に積極的に参加しており、私はとても嬉しく思いました。参加して良かったと思います。英語のスピーキングスキルを向上させただけでなく、参加者から多くの貴重なことを学びました。

CCC ポスター



**外大生と
語ろう！**

英語でおはなししませんか

**CITIZENS
CHAT CAFE**

地域住民が外大の留学生や日本人学生と英語で気軽に楽しく会話できる国際交流イベントです。

途中参加・途中退室自由

学生会館 4・5会議室

開催時間 13:30～15:30
開催日程 2024 9/28, 10/26, 11/16, 12/7
2025 1/25

日本人
スタッフも
います

無料で
どなたでも
参加可

当イベントに関するお問い合わせは下記のメールのみにて承ります。
直接大学へお問い合わせいただくことはできません。
お問い合わせ先: citizenschatcafe@gmail.com

神戸市公立大学法人 神戸市外国語大学
神戸市外国語大学 魅力発信事業2024

参加希望の方は右QRコードから→
各回の2日前までにお申し込みください。





LET'S TALK WITH GAIDAI STUDENTS!

WOULD YOU LIKE TO
PRACTICE YOUR ENGLISH?

CITIZENS CHAT CAFE

We have
Japanese
staff

Everyone
can join for
free!

THIS INTERNATIONAL EXCHANGE EVENT LETS LOCAL RESIDENTS ENJOY
CASUAL ENGLISH CONVERSATIONS WITH GAIDAI'S INTERNATIONAL AND
JAPANESE STUDENTS.
LET'S TALK FREELY IN ENGLISH!

Feel free to join and
leave at any time.

Location: Meeting Room
4&5, KCUFS Gakusei
Kaikan

TIME: 13:30~15:30

DATE: 2024 9/28, 10/26, 11/16,
12/7, 2025 1/25

FOR ANY INQUIRIES, PLEASE CONTACT US EXCLUSIVELY AT THE FOLLOWING.
EMAIL: citizenschatcafe@gmail.com
DO NOT CONTACT THE SCHOOL OFFICE DIRECTLY.



KOBE UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES
KCUPS PROMOTION PROJECT 2024

PLEASE REGISTER USING THIS QR CODE
AT LEAST 2 DAYS BEFORE EACH SESSION



メディア掲載

CCCは2024年10月23日発行の「Viva New Town」誌およびそのウェブサイトに掲載されました。このメディアは、神戸市の須磨区、西区、垂水区の合計105,550世帯に配布されており、主に住宅地域や地元コミュニティに関するニュース、イベント情報、ライフスタイルに関するコンテンツを提供しています

2024年10月23日号
ビバ！ニュータウン (第4水曜)
(2)

神戸市外国語大学（以下、神戸外大）は国内唯一の公立外国語大学として、地域貢献に力を注いでおり、2017年からはじめた「神戸外大魅力発信事業」を推進。高度な外国語能力と国際的な知識を備えた学生の能力を生かした活動を学生主体で行ってきた。

本イベントは、地域住民と在学する留学生・日本人学生が英語で気軽に会話する場を提供し、国際都市神戸における多文化交流の促進を目的としてこの日が初開催となった。

「母からのすゝめで姫路から友人と参加した」と話す小松倫子さん（高3）は海外が好きな母の影響で小学4年時から英会話教室に通っていたそう。コロナ以前はヨーロッパを中心に海外を旅していたという女性は「偶然情報を知って、キャンセル待ちだが申し込んだ。前日に空きが出て参加が叶いました」と、海外への関心の高い参加者が目立つ。副学長モンセラット・サン

スさんからイベントの趣旨とルール説明。スタッフを務める学生が紹介された。ルールには学生を含めお互いに敬意を持ってコミュニケーションを図ること、政治・宗教・家庭の事情などセンシティブな話題に関する議論は避けて全員が楽しめる場とすること、積極的に会話に参加することなどが盛り込まれている。各テーブルに6人程度が着き、自己紹介からスタート。進行役に神戸外大の学生を配置し、会話はすべて英語で進行される。

テーマはSDGs「ZERO HUNGER（飢餓をなくす）」「CLIMATE ACTION（気候変動に具体的なアクションを）」など17の目標から各参加者が興味のある項目について自由に意見を述べ、進行役の学生が他国の状況を付け加え会話を膨らませる。年齢もさまざまな参加者は話し手の顔をしっかりと見ながら真剣な表情で



神戸市外国語大学（西区学園東町）にて学生が企画運営する国際交流イベント「CITIZENS CHAT CAFE」が開催され、国際交流や英会話に興味を持つ市民50人が集まり交流した。

9月28日（土）神戸市外国語大学（西区学園東町）にて学生が企画運営する国際交流イベント「CITIZENS CHAT CAFE」が開催され、国際交流や英会話に興味を持つ市民50人が集まり交流した。

運営スタッフのリーダー小池春伽さん（神戸外大4年）は学内で声を掛けられて参加。スタッフ集めや告知ポスター掲示に走り回ったが「募集しやすく、参加しやすくなり、関心の高さが窺えます。期待に応じて回数を増やしたい」と意欲を見せた。学生をまとめるラジバ・クマル・シン先生は筑波大学在任中に同様のイベント開催経験がある。「神戸はラジバル移民出

りがあると確信がありました」と喜びを移した。

サンス副学長は、コロナ禍前の2019年度調査で日本人学生の海外留学経験者が3・6割の割合に留まる中、神戸外大ではその割合が7割を超えていたことを踏まえ「本学には豊富な海外経験と知識・視点を持つ学生が多数在籍しています。世界に目を向ける人材を地域のために役立てられたら」と想いを語った。

神戸外大 魅力発信事業▼

CITIZENS CHAT CAFE

今後の開催予定

- ② 2024年10月26日（土）
- ③ 2024年11月16日（土）
- ④ 2024年12月7日（土）
- ⑤ 2025年1月25日（土）

【時間】 各回13時30分～15時30分

【場所】 神戸市外国語大学 学生会館2階 4・5会議室
神戸市西区学園東町9丁目1（神戸市営地下鉄「学園都市」駅から徒歩3分）参加無料

【申込】 WEB上の申込フォームより。（※各回ごとに必要。申込締切は2日前まで）

オンライン記事：<https://www.vivanewtown.com/archives/7171>

イベントでの写真



初回での集合写真



毎回非常に多くの異なる年代の方が参加してくれました



時には笑いあり



ボディーランゲージは万国共通！



CITIZENS CHAT CAFE 2024

最終報告書

LINE & INSTAGRAM

参加者とのコミュニケーションのために公式LINEアカウントを開設しました。イベント開催の情報、報告書、キャンセルのリクエストが含まれます。



Instagramアカウントのリンク: